※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（学）政治・経済演習	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書							
副教材等	「進研 WINSTEP 政治･経済 新課程版」（株式会社ラーンズ） 「2027　共通テスト対策【実力完成】直前演習　公共、政治・経済」 （株式会社ベネッセコーポレーション）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「政治・経済演習」は、現代の政治や経済に関する具体的な課題や問題点を、主に問題演習を通して、深く掘り下げていきます。

現代の諸課題を捉え、考察するには、政治・経済に関する基本的な概念や理論の理解が不可欠です。予習課題を通じて、基礎知識をしっかりと身につけてほしい。

その知識を基に、現代の諸課題を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を身につけるために、授業中の問題演習に取り組んでほしい。

授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをメモするなど､主体的に学習の幅を広げ、また、深めることで、現代の諸課題を主体的に解決しようとする意欲を示してほしい。

２　学習の到達目標

(1) 現代における政治、経済、および国際関係について、問題演習などを通じて客観的に理解を深めるとともに、諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 現代における政治、経済、および国際関係に関する諸課題について、問題演習などを通じて考察を深め、公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。
(3) 問題演習やグループワーク、および、その振り返りなどを通じて、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習等を通じて、現代の政治、経済、社会、国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身につけようとするとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切に読み取る技能を身につけている。	問題演習等を通じて、現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題の本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しようとするとともに、社会の変化やさまざまな立場、考え方があることを理解した上で公正に判断しようとし、考察や判断の過程や結果を適切に表現している。	問題演習等を通じて、現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心をもち、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進をはかるため参加、協力する態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	政治	1　民主政治の基本原理と各国の政治体制 2　日本国憲法 3　基本的人権 4　国会 5　内閣と行政の課題 6　裁判所と司法制度 7　地方自治 8　選挙と政党政治	a:左記の学習内容に関する基本的事項について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容についての課題提出や問題演習などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	予習課題 問題演習 振り返りシート
	経済	9　資本主義の成立と発展 10　市場と企業 11　財政と金融 12　戦後日本経済の歩み 13　雇用と労働問題 14　社会保障 15　消費者・農業・中小企業				
	国際	16　国際連合と国際政治 17　国際社会の動向 18　国際貿易と国際収支 19　国際経済の変容と動向 20　人類の課題・世界の中の日本経済				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度